

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)

【公開番号】特開 2005-223404 (P2005-223404A)

【公開日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報 2005-032

【出願番号】特願 2004-26638 (P2004-26638)

【国際特許分類】

H 0 1 Q 21/30 (2006.01)

H 0 1 Q 1/38 (2006.01)

H 0 1 Q 5/01 (2006.01)

H 0 1 Q 9/18 (2006.01)

H 0 1 Q 21/10 (2006.01)

【F I】

H 0 1 Q 21/30

H 0 1 Q 1/38

H 0 1 Q 5/01

H 0 1 Q 9/18

H 0 1 Q 21/10

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 31 日 (2007.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

このように構成されているので、2 . 4 G H z 帯のダイポールアンテナ 6 と共用アンテナ 1 4 とによって 2 . 4 G H z 帯のコリニアアンテナが構成され、5 . 2 G H z 帯のダイポールアンテナ 1 0 と共用アンテナ 1 4 とによって 5 . 2 G H z 帯のコリニアアンテナが構成されている。コリニアアンテナの構成要素である 2 . 4 G H z 帯のダイポールアンテナ 6 は、2 組の 2 . 4 G H z 帯のダイポールアンテナからなり、同じくコリニアアンテナの構成要素である 5 . 2 G H z 帯のダイポールアンテナ 1 0 も、2 組の 5 . 2 G H z 帯のダイポールアンテナからなる。ダイポールアンテナ 6 と共用アンテナ 1 4 とは、平行線路 4 における 2 . 4 G H z 帯の 1 波長に相当する距離だけ離れて、それらの給電点が平行線路 4 によって接続されている。同様にダイポールアンテナ 1 0 と共用アンテナ 1 4 とは、平行線路 4 における 5 . 2 G H z 帯の 1 波長に相当する距離だけ離れて、それらの給電点が平行線路 4 によって接続されている。なお、このアンテナは、表面 2 a 及び裏面 2 b 全域に金属薄膜が形成された基板 2 をエッチングすることによって形成することができる。